

産婦人科臨床研修プログラム

研修目的

婦人科疾患および妊娠・分娩の基本的な知識と診療技術を習得する。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・産婦人科診察の特殊性の理解と基本的倫理の取得
 - ・婦人科悪性腫瘍患者に寄り添った対応ができる
 - ・妊婦分娩時に共感的な態度で接することができる
- B. 資質・能力
 - ・退院サマリーを作成できる
 - ・看護師および助産師と良好なコミュニケーションが構築できる
 - ・学会およびカンファレンスで症例報告ができる
- C. 基本的診療業務
 - ・外来問診で診断に必要な臨床情報を得ることができる
 - ・画像診断から基本的な異常所見を指摘できる

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・産婦人科臨床研究の基本的な研究倫理が理解できる
- B. 資質・能力
 - ・英文による症例報告が作成できる
- C. 基本的診療業務
 - ・指導医とともに産科および婦人科超音波検査を行い、基本的所見が理解できる

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

カンファレンスにおいて問診担当症例の診察経過を確認し、指導医とともに診断結果および治療計画について相談する。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	外来	病棟	
火	外来	病棟	カンファレンス
水	手術	手術	
木	外来	病棟	カンファレンス
金	外来	手術	

指導責任者および指導医

指導責任者： 徳永 英樹

指導医： 松澤 由記子・櫻田 尚子

学会発表・論文作成に対する指導体制

研修中に経験した産婦人科症例について産婦人科関連学会において症例報告を行う。症例の内容により和文または英文による症例報告を行えるよう指導を行う。